

「訪問看護医療情報連携加算」に関する掲示

医療法人寿鶴会 菅野病院 おれんじ訪問看護ステーションでは、2026 年度診療報酬改定に基づき、ICT ツール（電子連絡帳・医療情報共有システム等）を活用して関係機関と情報を共有する「訪問看護医療情報連携加算」の算定を開始いたします。

目的

主治医、薬剤師、ケアマネジャー等と、ICT（電子情報処理組織）を用いて診療情報やケアの状況を共有・活用することで、より質の高い訪問看護を提供する。

連携体制

共有される情報は、ご本人の同意を得た範囲内で適切に取り扱い、関係職種間でのスムーズな情報交換（バイタルデータの変化、内服状況、緊急時の対応方針など）に役立てます。

当ステーションは今後も医療DXを推進し、地域の関係機関（医療及び介護）等と連携し、利用者様に安心して在宅生活を継続して頂けるよう努めてまいります。